

栗東市立治田保育園

日時：2020年1月9日（木）13:30-17:15

2020年1月14日（火）9:00-16:30

場所：栗東市坊袋162

近隣は小学校や市民センターがあり、市街地にある幼稚園。園庭には砂場、飼育物である花、桜の木など自然物がありますが、山や公園に比べると自然物は少ないです。しかし、そんな環境でも、自然を用いた遊びを実施することは十分可能です。今回は園庭の限られた自然を活かしてプログラムを作成、実施しました。また、2日目には小学校の校長先生も視察に来ていただきました。

（対象：4歳児38名）

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治（しまっち）さん

五感を意識して、自然を感じよう

山や川、公園に比べて、自然が少ないという園もあると思います。しかし、そんな環境でも自然を生かした遊びが全くできないわけではありません。五感を意識した遊びを行えば、自然を身近に感じることができます。

例えば五感のうち「聴覚」を使った活動。よく耳をすまして見ると、風の音、鳥の鳴き声など、様々な音に気づくことができます。



牛乳パックの中にどんぐりを入れますが、何個入っているかを当ててもらいます。耳をよくすまして、当てられるかな？

ルーペで見る自然は肉眼とは違う世界になっており、大人も「おお～」と声をあげるほど夢中になること間違いなしです。



かお・かお・どんなかお

笑った顔、怒った顔、泣いている顔、自然のものを使っていろんな表情をつくって、どんな表情なのかクイズをしてもらいます。今回は6グループに分かれました。各グループで材料を拾う人、顔を作る人と、役割が分かれていました。同じ表情でも各グループ出来上がった表情は微妙に違いました。最後は人間にも表情があるように、自然も表情があるということ子どもたちにメッセージとして伝えます。

「にここに」「しくしく」
いろんな表情があるね。
自然のものを使って再現できるかな？



「この枝、にっこりしてる口に良さそう！」「石は目にぴったりだね」

「笑ってる！」
「怒ってるのかなあ？」



人間に表情があるように、自然にも表情があるんだよ。覚えていてね。



自然物の楽器あそび

園庭の自然物を拾ってもらいますが、「良い音」がなるものを見つけてもらいます。まずは、園庭のものに耳をすまし、どんな音がしているかを確認します。

次に、良い音のなる自然物をカップに入れて振ってみましょう。木の枝、葉っぱ、石、砂とそれぞれ音が異なることがわかります。最後は拾ってきたものを使って、ラジオ体操をしました。

まずは、いつも遊んでいる遊具に耳を傾けてみよう。
どんな音が聞こえるかな。



どうやらいろんな音が聞こえたみたいです。
「ブランコから水の音が！」



カップにいろいろ入れて、
どんな音がするか確かめてみよう。



いろんな音のするものが見つけられたかな。
最後はラジオ体操で合奏をしよう！

プログラムを終えてのふりかえりから

- 以前同じ研修を受けたことがあり、もう一度ぜひ参加したいと思っていた。今後の保育に生かせる内容であった。
- 子どもたちが楽しそうに遊んでいる様子を見て、自分自身も楽しんで保育を行うことができた。
- 園庭という自然が少ない環境の中で、様々な保育のアイデアが生み出されてとても嬉しい。
- 他の園の先生方と協力できて楽しかった。ここまで綿密に計画するのは中々無く、勉強になった。
- 少ない自然の中での遊びの可能性を知り、楽しかった。今後の保育に生かしたい。
- 改めて保育の楽しさを知った。子どもたちに自然の楽しさが広がって欲しい。
- 様々な人の意見を聞くことができた。